

2023年度新入社員向けITエンジニア研修

IT企業の未来を創るエンジニア育成

【運営】



株式会社エンベックスエデュケーション

【社名】 **株式会社エンベックスエデュケーション** embex education Inc.

【事業内容】 ITにおける人材育成事業 エンジニアリングサービス事業（株式会社エンテックス）

- emTech Academy(新入社員ITエンジニア研修)
- ITエンジニア派遣サービス
- 中堅社員研修
- 受託開発サービス
- 採用支援、採用に関する研修

- ISO研修事業、コンサルティング業務

【代表取締役】 荒木 泰晴

【顧問】 澤田 陽太郎
(元 厚生労働事務次官)

門田 浩
(元 日本電気株式会社 ソフトウェアデザイン研究所 所長)
(元 IPAソフトウェアエンジニアリングセンター 組込み系リーダー)

半田 敏雄
(元 米国三菱重工株式会社 エンジン事業部社長)

【顧問】 山田 功生
(マーケティング) (元 株式会社マイナビ 教育研修事業部 開発部 部長)

【技術顧問】 穴戸 文男
(元 イーソル株式会社 人材育成室長)
(元 株式会社イーソルエンベックス 取締役)

【資本金】 5,000万円



【所在地】 〒102-0083
東京都千代田区麹町5-3
麹町中田ビル5F
TEL: 03-6384-1435 (代)
FAX: 03-6384-1440

emTech Academyが選ばれる 5つの理由



豊富な実績



確かな実力の
講師陣



成果の見える
研修



豊富な研修
ラインナップ



国の助成金が
利用可能

10年以上にわたり新入社員向けのITエンジニア研修を提供。
業界トップレベルの規模と実績。
新入社員の『成長』を第一に考えたカリキュラムと
ヒューマンスキルの向上も兼ね備えた圧倒的なリピート率の新人IT研修。
助成金活用と安心のサポート体制により企業負担の軽減を実現。



豊富な実績

10年以上にわたり
全国39都道府県16,200名以上の
新入社員が研修受講!!

全国のエンジニアを元気にする

導入企業数



3,500社以上

2009年からの累計

開催地域



39都道府県

過去開催実績

受講者数



16,200人以上

2009年からの累計



ご協力を頂いている地域ソフトセンター及び団体

- 一般社団法人北海道IT推進協会
- 株式会社ソフトアカデミーあおもり
- 株式会社岩手ソフトウェアセンター
- 一般社団法人秋田県情報産業協会
- 一般社団法人福島県情報産業協会
- 株式会社ひたちなかテクノセンター

- 株式会社フジミック新潟
- 一般社団法人富山県情報産業協会
- 株式会社石川県IT総合人材育成センター
- 山梨県キャリアコンサルティング協会
- 一般財団法人塩尻市振興公社

- 株式会社浜名湖国際頭脳センター
- 愛媛県情報サービス産業協議会
- 一般社団法人長崎県情報産業協会
- 熊本ソフトウェア株式会社
- 沖縄県ソフトウェア事業協同組合

実績からみる emTech Academyの研修

研修活用理由



エンテックアカデミー 新入社員研修を活用する理由

- | | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 技術スキルの向上を図るため | 84.9% |
| 2 | 社内人員の業務負担削減のため | 73.5% |
| 3 | 社会人スキルの向上を図るため | 66.7% |
| 4 | 採用活動の際に会社のアピールポイントとなると考えるため | 39.4% |

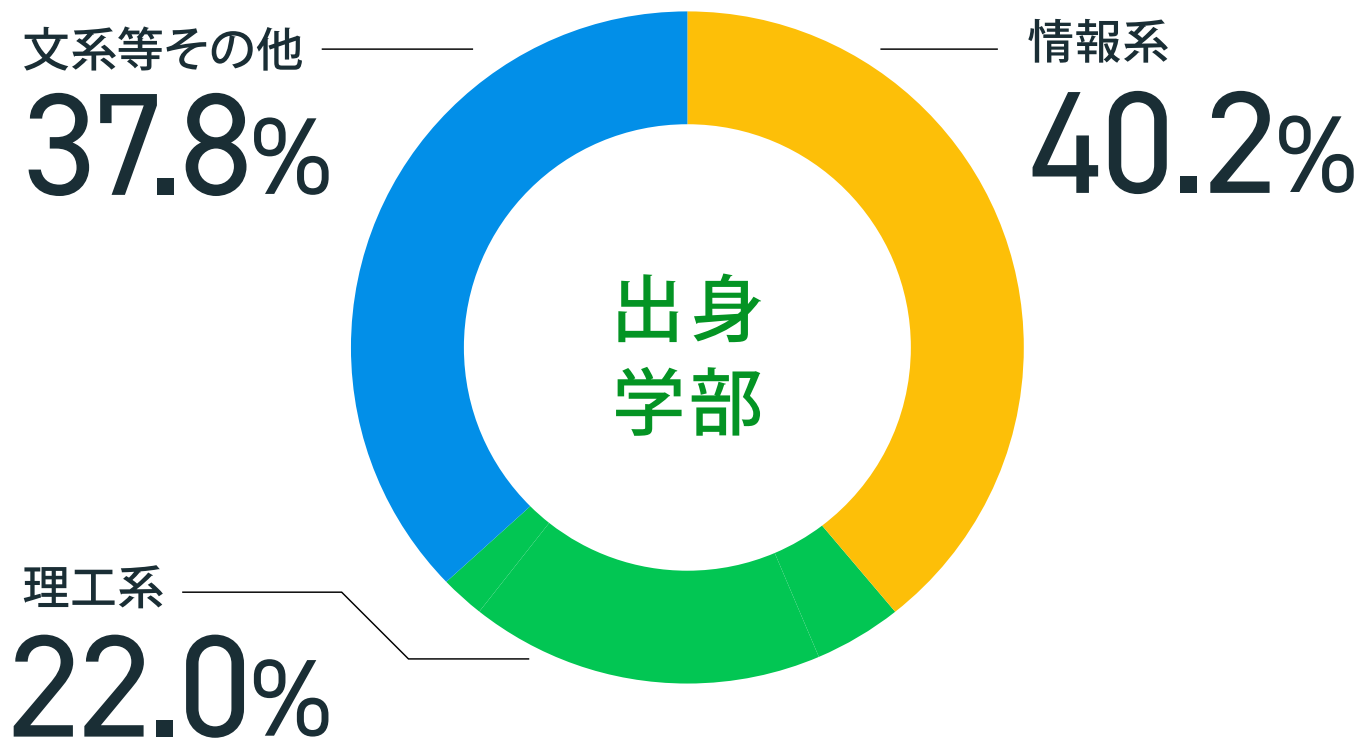


2022年度 emTech Academyの研修実績

**入社後研修を準備していることは、研修を行っていない企業との
大きな差別化となり、学生からのアプローチ増を期待!**

実績からみる emTech Academyの研修

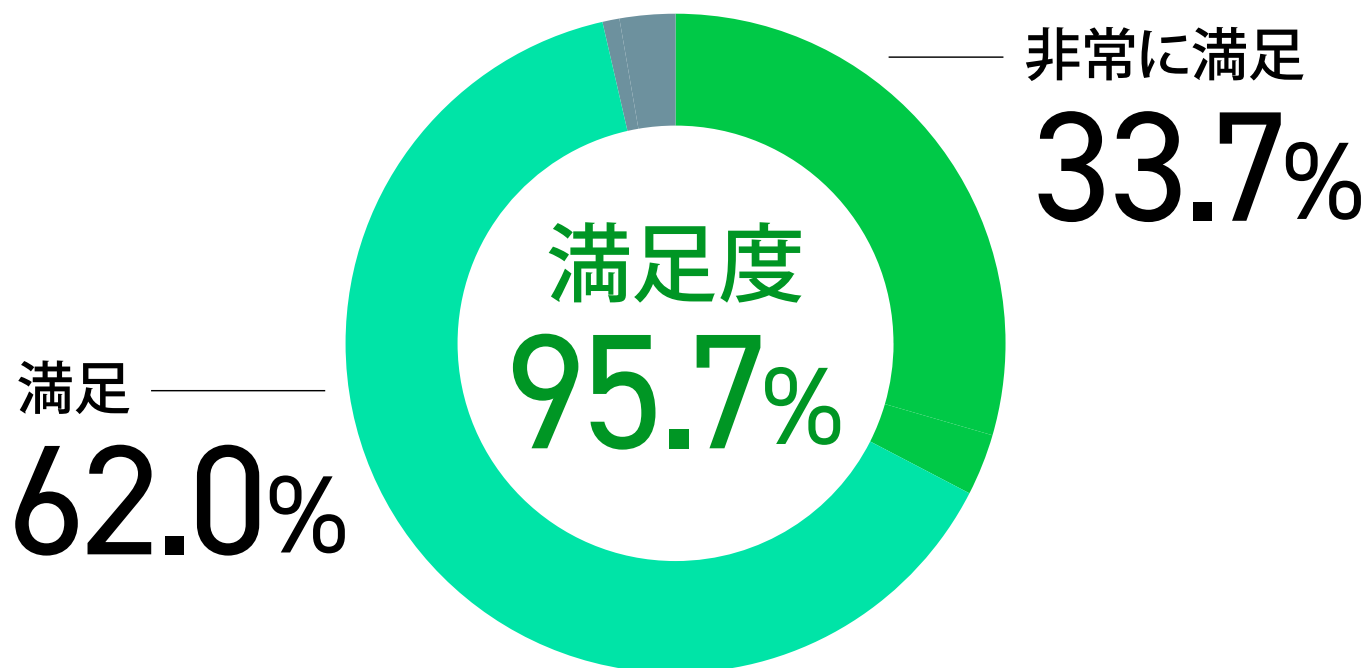
受講者の出身学部



2022年度 emTech Academyの研修実績

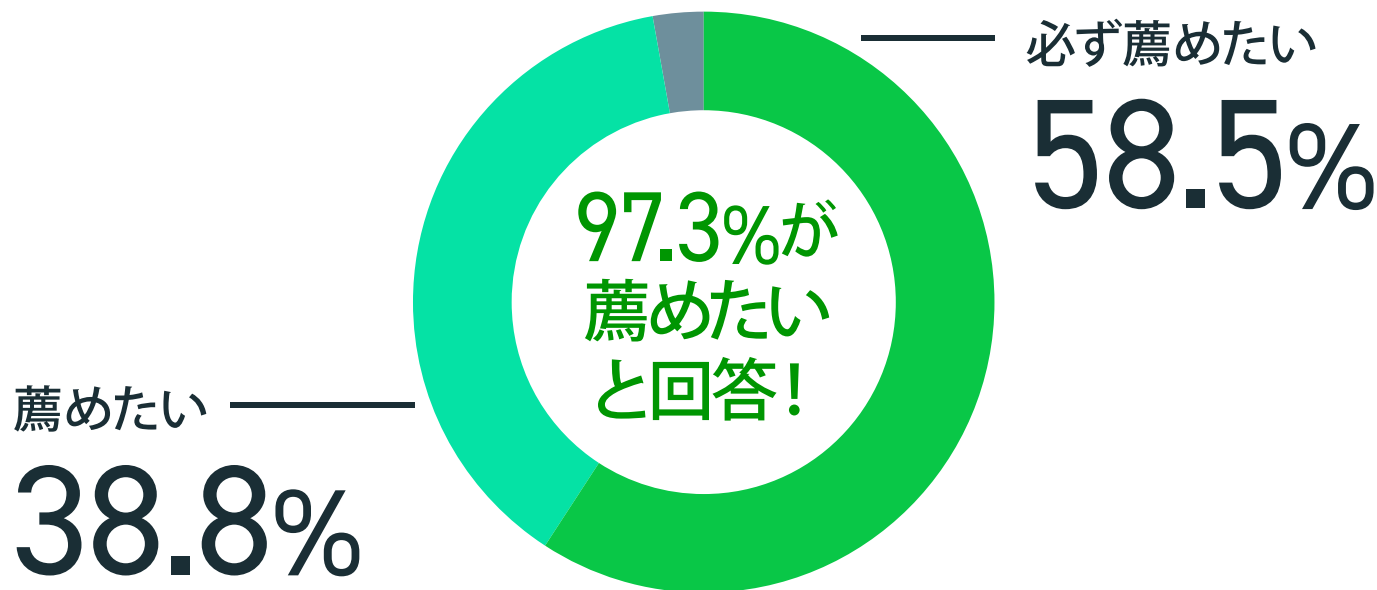
実績からみる emTech Academyの研修

研修総合満足度



実績からみる emTech Academyの研修

後輩へ勧めますか？



来年の後輩へ研修薦めるかアンケート（受講者で多かったコメント）

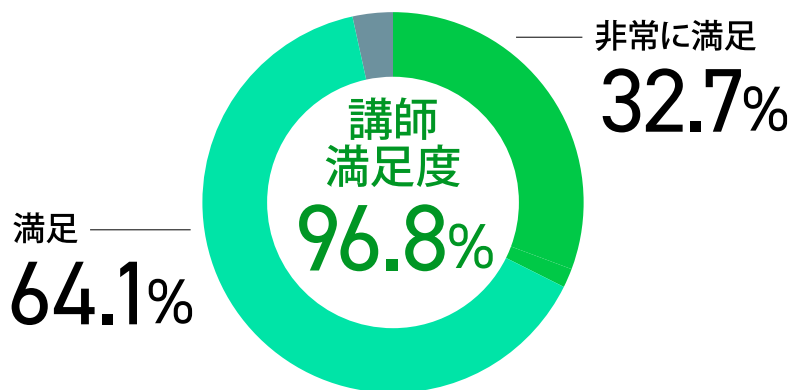
未経験でもシステムが
作れるようになった

経験者だが曖昧だった
知識を再学習できた

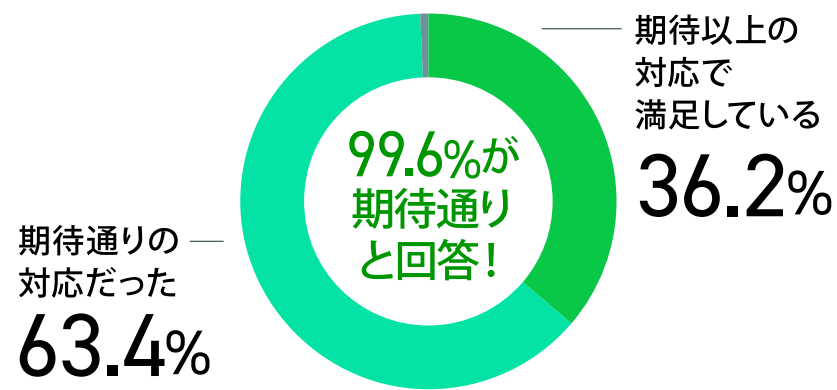
技術だけでなく社会人とし
ての基礎も身についた

実績からみる emTech Academyの研修

講師への満足度



サポートへの満足度





確かな実力の講師陣

独自の講師育成プログラムを修了後
認定試験に合格した現役ITエンジニア
の講師

- ◆現役の技術者を2か月間かけて講師に育成します
- ◆技術面だけでなく社会人としても、受講者の規範となるよう、マナーやパーソナルスキルもトレーニング
- ◆講師の品質を確保するために講師認定試験を実施





成果の見える研修

受講者の受講状況をリアルタイムで
確認できる「研修の見える化」を提供

お客様サポートサイト（研修サポートサイト）

お客様専用のサポートサイトでは、いつでも、どこでも受講者の状況を把握していただくために、研修に関する様々な情報を提供いたします

研修サポートサイト

コース情報



受講者の出席状況



講座スケジュール



講師紹介



会場情報



- 欠席連絡
- 見学予約
- コミュニケーションシート
- 講座ごとのアンケート
- 総合テスト結果の閲覧

タイムリーに
情報更新！

助成金申請の
見える化
【申請サポートサイト】

後程説明いたします

等、研修受講に関する情報をサポートします。

習熟度合が判りやすいレポート

総合テスト

集計日時 2021-07-02 01:05:44

↓ CSVをダウンロード

受講者番号	氏名	コース全体				前半				コンピュータ基礎				プログラム開発基礎				C言語基礎				C言語プログラミング			
		得点 293満点	得点率 18人中	会場順位 128人中	全国順位	得点 118満点	得点率 18人中	会場順位 222人中	全国順位	得点 38満点	得点率 18人中	会場順位 1274人中	全国順位	得点 25満点	得点率 18人中	会場順位 1326人中	全国順位	得点 34満点	得点率 18人中	会場順位 319人中	全国順位	得点 21満点	得点率 18人中	会場順位 276人中	全国順位
000000000001	〇〇〇〇	244	83.3	1	8	106	89.8	1	10	36	94.7	1	16	24	96.0	1	49	28	82.4	3	49	18	85.7	1	15
00010001003	△△△△	204	69.6	10	62	88	74.6	10	100	30	78.9	9	451	22	88.0	5	379	23	67.6	11	162	13	61.9	8	122
000000000002	□□□□	171	58.4	16	105	75	63.6	16	179	30	78.9	9	451	19	76.0	16	923	19	55.9	16	258	7	33.3	16	249
企業平均		206.3	70.4	-	-	89.7	76.0	-	-	32.0	84.2	-	-	21.7	86.7	-	-	23.3	68.6	-	-	12.7	60.3	-	-
会場平均		200.7	68.5	-	-	88.1	74.7	-	-	30.6	80.4	-	-	21.2	84.7	-	-	24.1	70.9	-	-	12.3	58.5	-	-
全国平均		200.8	68.5	-	-	86.1	73.0	-	-	28.2	74.3	-	-	20.6	82.5	-	-	23.6	69.5	-	-	12.8	60.8	-	-



全国で開講しているから出来る

【ランキング表示】

- ・ 会場順位
- ・ 全国順位

OJT訓練での注力箇所も分かる！

◆ 講座一覧

番号	講座名	日数	テキスト名	使用機材
1	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎	5	コンピュータ基礎、プログラム開発基礎	
2	C#.NET基礎	4	C#.NET基礎	PC
3	C#.NETプログラミング	7	C#.NETプログラミング	PC
4	C#.NETデータベース連携	4	データベース基礎 (SQL Server) C#.NETデータベースプログラミング	PC
5	Web技術基礎	2	Web技術基礎	PC
6	ASP.NET基礎 (C#.NET)	5	ASP.NET基礎 (C#.NET)	PC
7	システム開発基礎 (C#.NET)	2	システム開発基礎 (C#.NET)	PC
8	プロジェクト型演習 (C#.NET)	9	プロジェクト型演習 (C#.NET)	PC
	合計日数	38		

- 『プロジェクト型演習』 最終日には成果発表会を実施します。
- 1日8時間での学習内容となります。
- コース期間中に2回、総合テストを実施します。

成果発表会

全コース※
最終日の成果発表会は、
すべての参加企業が見学



※ 短期コースは除く

【佐世保市】 2023年 C#.NETエンジニア養成コース 38日間

日付		研修内容
4月1日	土	
4月2日	日	
4月3日	月	
4月4日	火	
4月5日	水	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月6日	木	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月7日	金	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月8日	土	
4月9日	日	
4月10日	月	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月11日	火	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月12日	水	C#.NET基礎
4月13日	木	C#.NET基礎
4月14日	金	C#.NET基礎
4月15日	土	
4月16日	日	
4月17日	月	C#.NET基礎
4月18日	火	C#.NETプログラミング
4月19日	水	C#.NETプログラミング
4月20日	木	C#.NETプログラミング
4月21日	金	C#.NETプログラミング
4月22日	土	
4月23日	日	
4月24日	月	C#.NETプログラミング
4月25日	火	C#.NETプログラミング
4月26日	水	C#.NETプログラミング
4月27日	木	C#.NETデータベース連携
4月28日	金	C#.NETデータベース連携
4月29日	土	
4月30日	日	

日付		研修内容
5月1日	月	C#.NETデータベース連携
5月2日	火	C#.NETデータベース連携
5月3日	水	
5月4日	木	
5月5日	金	
5月6日	土	
5月7日	日	
5月8日	月	Web技術基礎
5月9日	火	Web技術基礎
5月10日	水	ASP.NET基礎
5月11日	木	ASP.NET基礎
5月12日	金	ASP.NET基礎
5月13日	土	
5月14日	日	
5月15日	月	ASP.NET基礎
5月16日	火	ASP.NET基礎
5月17日	水	システム開発基礎
5月18日	木	システム開発基礎
5月19日	金	プロジェクト型演習
5月20日	土	
5月21日	日	
5月22日	月	プロジェクト型演習
5月23日	火	プロジェクト型演習
5月24日	水	プロジェクト型演習
5月25日	木	プロジェクト型演習
5月26日	金	プロジェクト型演習
5月27日	土	
5月28日	日	
5月29日	月	プロジェクト型演習
5月30日	火	プロジェクト型演習
5月31日	水	プロジェクト型演習

定時 9:00-18:00・8時間/日
 昼休み 12時-13時
 1人あたり受講料 74.8万円(税込)

【長崎市】 2023年 C#.NETエンジニア養成コース 38日間

日付		研修内容
4月1日	土	
4月2日	日	
4月3日	月	
4月4日	火	
4月5日	水	
4月6日	木	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月7日	金	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月8日	土	
4月9日	日	
4月10日	月	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月11日	火	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月12日	水	コンピュータ基礎&プログラム開発基礎
4月13日	木	C#.NET基礎
4月14日	金	C#.NET基礎
4月15日	土	
4月16日	日	
4月17日	月	C#.NET基礎
4月18日	火	C#.NET基礎
4月19日	水	C#.NETプログラミング
4月20日	木	C#.NETプログラミング
4月21日	金	C#.NETプログラミング
4月22日	土	
4月23日	日	
4月24日	月	C#.NETプログラミング
4月25日	火	C#.NETプログラミング
4月26日	水	C#.NETプログラミング
4月27日	木	C#.NETプログラミング
4月28日	金	C#.NETデータベース連携
4月29日	土	
4月30日	日	

日付		研修内容
5月1日	月	C#.NETデータベース連携
5月2日	火	C#.NETデータベース連携
5月3日	水	
5月4日	木	
5月5日	金	
5月6日	土	
5月7日	日	
5月8日	月	C#.NETデータベース連携
5月9日	火	Web技術基礎
5月10日	水	Web技術基礎
5月11日	木	ASP.NET基礎
5月12日	金	ASP.NET基礎
5月13日	土	
5月14日	日	
5月15日	月	ASP.NET基礎
5月16日	火	ASP.NET基礎
5月17日	水	ASP.NET基礎
5月18日	木	システム開発基礎
5月19日	金	システム開発基礎
5月20日	土	
5月21日	日	
5月22日	月	プロジェクト型演習
5月23日	火	プロジェクト型演習
5月24日	水	プロジェクト型演習
5月25日	木	プロジェクト型演習
5月26日	金	プロジェクト型演習
5月27日	土	
5月28日	日	
5月29日	月	プロジェクト型演習
5月30日	火	プロジェクト型演習
5月31日	水	プロジェクト型演習

日付		研修内容
6月1日	木	プロジェクト型演習
6月2日	金	
6月3日	土	
6月4日	日	
6月5日	月	
6月6日	火	
6月7日	水	
6月8日	木	
6月9日	金	
6月10日	土	
6月11日	日	
6月12日	月	
6月13日	火	
6月14日	水	
6月15日	木	
6月16日	金	
6月17日	土	
6月18日	日	
6月19日	月	
6月20日	火	
6月21日	水	
6月22日	木	
6月23日	金	
6月24日	土	
6月25日	日	
6月26日	月	
6月27日	火	
6月28日	水	
6月29日	木	
6月30日	金	
6月31日	土	

定時 9:00-18:00・8時間/日
 昼休み 12時-13時
 1人あたり受講料 74.8万円(税込)



ヒューマンスキルの向上にも重点をおいており、自分の考えの伝え方、他者の考えの聞き方を学びます。職場や配属先で仕事をスムーズに進めるために、ヒューマンスキルも合わせてトレーニングします。

研修事業開始

2009年

2011

2013

2015年

2017

2019

2021

2022年

新卒社員がZ世代に

研修会社が実感する動向

情報系出身者が大半

技術指導に注力

情報系学科の学生枯渇
ITエンジニアの文系出身者増加

コミュニケーション能力重視に

コミュニケーションスキルへの継続的対応

研修講師への指導要領改訂

『新入社員の心得』の導入

『新入社員の心得』改訂

新入社員の心得 15ヶ条

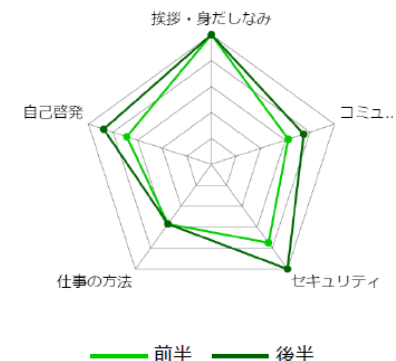
1. 元気に挨拶・返事をする
2. 相手の立場に立った話し方をする
3. 報連相の違いを意識して使い分ける
4. 自身の発信力を高める
5. 聞き方を意識する - 傾聴 -
6. 役に立つメモを取る
7. 論理的に考える力を身に付ける
8. 清潔感のある身だしなみを心掛ける
9. 約束の時間を守る
10. 会社のルールを守る
11. セキュリティを意識する
12. PDCAサイクルで仕事の質を高める
13. 自身の長所と短所を自覚する
14. 自分の仕事上の傾向を捉える
15. 事実と解釈を区別する

4. 新入社員の心得 (%)

挨拶・身だしなみ		コミュニケーション		セキュリティ		仕事の方法		自己啓発	
前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
100	100	62.5	75	75	100	57.1	57.1	68.8	87.5

新入社員の心得

挨拶・身だしなみ 社会人としての基本的なマナー（振る舞い、姿勢）		前半	後半
入室時、退室時に挨拶ができています。		○	○
普段から服装などに気を付け、清潔さを感じさせる身だしなみができる。		○	○
コミュニケーション 円滑な人間関係を構築する上で必要なやり取り		前半	後半
指名された際や、依頼・指示を受けた際に返事ができている。		○	○
相手が理解しやすいように、相手への話し方を工夫できている。結論を意識している。落ち着いてゆっくり話す。話の順序を考えて話す。		△	△
積極的に発言しようとする姿勢がみられる。		△	△
相手を向く・目を合わせる・うなづく・相づちを打つなど、相手の話を聞く姿勢が取れている。		△	○
セキュリティ 情報流出を防止するための意識		前半	後半
会社の機密情報を研修会場で話していない。会社や上司などの悪口を書っていない。		△	○
研修会場でのルールを守っている。		△	○
帰宅時にクリアデスクが出来ている。離席時に画面ロックしている。オンラインの場合は、離席時にマイクオフにするなどしている。		○	○
セキュリティに関しての意識がある（テキストの例に挙げているものなどを実際に守っている）。		○	○
仕事の方法 仕事をする上での基本となる所作		前半	後半
報連相を適切なタイミングで行うことができる。		△	△
相手にとって分かりやすく、報告・連絡・相談を使い分けることができる。		△	△
講義以外に必要な情報（講師からの案内など）のメモを取っている。		○	○



- 「新入社員の心得 15ヶ条」が5分類25項目にて評価
- 前半・後半の2回評価を行い新社会人として何が出来ていて何が出来ていないのかを○・△・×で視覚化します

人事担当者・OJTトレーナーに役立ちます



国の助成金が活用可能

厚生労働省の助成金が活用可能。
お客様ごとの専任担当者による
充実したサポート

弊社新入社員研修は厚生労働省「人材開発支援助成金」に対応しています

人材開発支援助成金

特定訓練コース

若年人材育成訓練（OFF-JTのみ）

正規雇用の労働者に対して、OFF-JTにより職業訓練などを計画に沿って実施した場合の助成

人への投資促進コース

情報技術分野認定実習併用職業訓練（OFF-JT + OJT）

IT分野未経験の正規雇用労働者に対して、社外OFF-JTと社内OJTを効果的に組み合わせた職業訓練などを計画に沿って実施した場合の助成

弊社新入社員研修は厚生労働省「人材開発支援助成金」に対応しています

人材開発支援助成金

企業内での人材育成に取り組む事業主の皆さまへ
傘下の事業主が雇用する労働者に訓練を実施する事業主団体の皆さまへ

人材開発支援助成金 (特定訓練コース・一般訓練コース) のご案内（詳細版）

概要

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

当冊子では●印のコースについて取り扱っております。

特定訓練コース	●
一般訓練コース	●
教育訓練休暇等付与コース	—
特別育成訓練コース	—
建設労働者認定訓練コース	—
建設労働者技能実習コース	—
障害者職業能力開発コース	—
人への投資促進コース	—

特定訓練コース

若年人材育成訓練 (OFF-JTのみ)

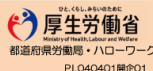
正規雇用の労働者に対して、OFF-JTにより
職業訓練などを実施した場合の助成



詳しくは、厚生労働省または都道府県労働局のホームページをご覧ください。

人材開発支援助成金 厚生労働省

検索



都道府県労働局・ハローワーク

PL040401開企01

人材開発支援助成金の仕組みについて（令和4年改正）

計算方法		
賃金助成	所定労働時間内のOFF-JT受講時間数合計×助成額	
経費助成	事業外訓練	受講料×対象者数×助成率
	事業内訓練	経費合計× $\frac{\text{対象者数}}{\text{受講者数}}$ ×助成率

限度額および限度時間		
1事業所1年度あたりの助成額	10,000,000円	
1時間あたりの部外講師費	15,000円	
1人1コースあたりの経費助成額	※OFF-JT時間数により変動	
	中小企業	大企業
100時間未満	150,000円	100,000円
100時間以上200時間未満	300,000円	200,000円
200時間以上	500,000円	300,000円
受講回数の制限：1人1年度あたり3回まで		

☆助成金計算のポイント

- (1) 賃金助成は申請事業主の所定労働時間や受講者の訓練出席状況により金額が変動します。
- (2) 経費助成は消費税込みの金額をもとに計算します。
- (3) 助成限度額が決まっています。限度額を超えていないか、必ずチェックしましょう。
- (4) 100円未満の金額は切り捨てます。
- (5) 事業外訓練と事業内訓練は対象経費が異なるため計算方法も異なります。

※この内容は令和4年9月現在、厚生労働省が示している情報によるもので、今後、変更となる可能性があります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください。

人材開発支援助成金 特定訓練コース（令和4年改正）

推奨する訓練	特定訓練コース 若年人材育成訓練
対象企業	大企業・中小企業 ※中小企業事業主の範囲に関しては「人材開発支援助成金のご案内（特定訓練コース・一般訓練コース）」p.8をご参照ください
対象者	申請事業主の事業所の雇用保険被保険者となった日から 5年を経過していない労働者であって、かつ35歳未満の被保険者 ※被保険者の定義に関しては「人材開発支援助成金のご案内（特定訓練コース・一般訓練コース）」p.7をご参照ください
対象訓練	OFF-JTによる10時間以上の訓練
助成の目安 (※当社新人研修の場合)	大企業：研修費用の 約45% 中小企業：研修費用の 約76% ※受講する研修コースにより異なります
留意事項	申請事業主は「定期的なキャリアコンサルティングの機会を確保すること」が必須

※その他詳細については、厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金（特定訓練コース・一般訓練コース）のご案内」パンフレットをご確認ください

※この内容は令和4年9月現在、厚生労働省が示している情報によるもので、今後、変更となる可能性があります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください

人材開発支援助成金の助成額試算（令和4年改正）

若年人材育成訓練の助成額・助成率		
	中小企業	大企業
①賃金助成	760円/時	380円/時
②経費助成	45%	30%



【中小企業の場合】

- ① 賃金： **760円/時** × 304時間
- ② 経費： 74.8万円(税込) × **0.45**

試算条件	
JavaWebエンジニア養成コース	
Off-JT訓練	38日間（304時間）
対象者数	1人
受講料	748,000円/人（税込）

計算例		
	中小企業	大企業
①賃金助成	231,000円	115,500円
②経費助成	336,600円	224,400円
計	567,600円	339,900円

※100円未満 切捨て

※この内容は令和4年9月現在、厚生労働省が示している情報によるもので、今後、変更となる可能性があります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください。

弊社新入社員研修は厚生労働省「人材開発支援助成金」に対応しています

人材開発支援助成金

企業内での人材育成に取り組む事業主の皆さまへ

人材開発支援助成金 人への投資促進コース のご案内（詳細版）

人材開発支援助成金（人への投資促進コース）は、「人への投資」を加速化するため国民の方からご提案を形にした訓練コースです。次の5つの訓練を用意しています。

- 1. デジタル人材・高度人材の育成**
高度デジタル人材訓練／成長分野等人材訓練
高度デジタル人材等の育成のための訓練や、海外を含む大学等での訓練を行う事業主に対する高率助成
※ ITSS（ITスキル標準）レベル4・3となる訓練または大学への入学（情報工学・情報科学）
情報技術分野初級・中級・上級職業訓練
IT分野未経験者への能力化のための訓練を実施する事業主に対する助成
※ OFF-JTとOJTを組み合わせた訓練
- 2. 労働者の自発的な能力開発の促進**
長期教育訓練休暇等制度
働きながら訓練を受講するための長期休暇制度や短期労働者等制度（所定労働時間の短縮及び所定外労働時間の免除）を導入する事業主への助成の拡充（長期休暇制度の賃金助成の人員制限の撤廃等）
自発的職業能力開発訓練
労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主に対する助成
- 3. 柔軟な訓練形態の助成対象化**
定額制訓練
労働者の多様な訓練の選択・実施を可能とする「定額制訓練」（サブスクリプション型の研修サービス）を利用する事業主に対する助成

特定訓練コース	—
一般訓練コース	—
教育訓練休暇等付与コース	—
特別育成訓練コース	—
建設労働者認定訓練コース	—
建設労働者技能実習コース	—
障害者職業能力開発コース	—
人への投資促進コース	●

人への投資促進コース

情報技術分野認定実習併用職業訓練 （OFF-JT+OJT）

IT分野未経験の正規雇用労働者に対して、
社外OFF-JTと社内OJTを効果的に組み合わせた
職業訓練などを計画に沿って実施した場合の助成

人材開発支援助成金の仕組みについて（令和4年改正）

計算方法		
賃金助成	所定労働時間内のOFF-JT受講時間数合計×助成額	
経費助成	事業外訓練	受講料×対象者数×助成率
実施助成	対象者数×助成額	

限度額および限度時間		
1事業所1年度あたりの助成額	15,000,000円	
1人1訓練あたりの実施助成額	中小企業	大企業
	200,000円	110,000円
1人1コースあたりの経費助成額	※OFF-JT時間数により変動	
	中小企業	大企業
100時間未満	150,000円	100,000円
100時間以上200時間未満	300,000円	200,000円
200時間以上	500,000円	300,000円
支給回数の制限：1人1年度あたり1回		

☆助成金計算のポイント

- (1) 賃金助成は申請事業主の所定労働時間や受講者の訓練出席状況により金額が変動します。
- (2) 経費助成は消費税込みの金額をもとに計算します。
- (3) 助成限度額が決まっています。限度額を超えていないか、必ずチェックしましょう。
- (4) 100円未満の金額は切り捨てます。

※この内容は令和4年9月現在、厚生労働省が示している情報によるもので、今後、変更となる可能性があります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください。

人材開発支援助成金 **人への投資促進コース** (令和4年改正)

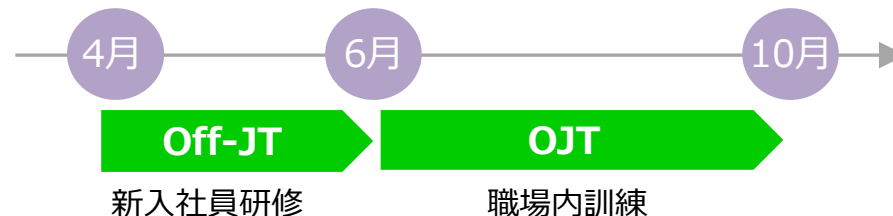
推奨する訓練	人への投資促進コース 情報技術分野認定実習併用職業訓練
対象企業	大企業・中小企業 ※中小企業事業主の範囲に関しては「人材開発支援助成金のご案内」p.23をご参照ください
対象者	次の(1)~(3)のいずれかに該当し、15歳以上45歳未満である労働者 (1) 新たに雇い入れた者(雇入れ日から訓練開始日までが3か月以内であること) (2) 大臣認定申請の前に既に雇用されている短時間等労働者で 通常労働者に転換した者 (3) 既に雇用している短時間等労働者以外の者 ※詳細な条件があるため「人材開発支援助成金 人への投資促進コースのご案内」p.8をご参照ください
対象訓練	OFF-JTとOJTを効果的に組み合わせた6か月以上2年以下の訓練
助成の目安 (※当社新人研修の場合)	研修費用の 全額助成 も可能
留意事項	- 主たる事業が日本標準産業分類における大分類の情報通信業に該当すること - OFF-JTは「事業外訓練」であること

※その他詳細については、厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金 人への投資促進コースのご案内」パンフレットをご確認ください

※この内容は令和4年9月現在、厚生労働省が示している情報によるもので、今後、変更となる可能性があります。詳しくは厚生労働省のホームページでご確認ください

人材開発支援助成金の助成額試算（令和4年改正）

情報技術分野認定実習併用職業訓練 の助成額・助成率		
	中小企業	大企業
①賃金助成	760円/時	380円/時
②経費助成	60%	45%
③実施助成	200,000円/人	110,000円/人



【中小企業の場合】

- ① 賃金： **760円/時** × 304時間
- ② 経費： 74.8万円(税込) × **0.6**
- ③ 実施： **200,000円/人**

試算条件	
JavaWebエンジニア養成コース	
Off-JT訓練	38日間（304時間）
対象者数	1人
受講料	748,000円/人（税込）
OJT比率	20%以上80%以下

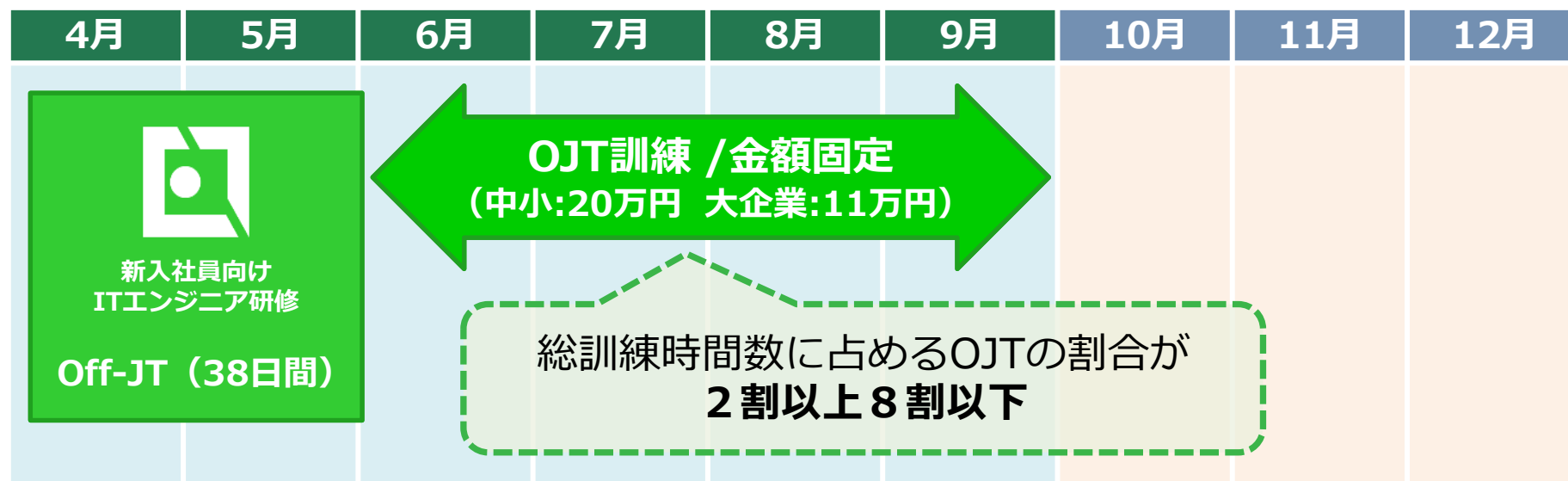
計算例		
	中小企業	大企業
①賃金助成	231,000円	115,500円
②経費助成	448,800円	300,000円
③実施助成	200,000円	110,000円
計	879,000円	525,500円

※100円未満 切捨て

令和4年4月1日改正「人材開発支援助成金」 **新たな注意事項**

人への投資促進コース

情報技術分野認定実習併用職業訓練（OFF-JT+OJT）



【半年間で**425時間（年間換算850時間）**が最低研修実施時間数】

Off-JT訓練 304時間／OJT訓練 121時間：合計 425時間（OJT訓練比率 28%）

※最低毎週1日以上の実施が必要と思われます（過去の実績より）

OJT訓練に関する注意事項

- ① **12月末までに**OJT訓練計画を決め、大臣認定申請を都道府県労働局に提出すること
 - (1)OFF-JTとOJTをあわせて6か月以上かつ1年あたりに換算して425時間以上の訓練を計画すること
 - (2)OJT計画は日毎に「実施時間数、実施場所の住所、指導員、職務別の訓練内容」が必要
 - (3)OJTはOFF-JTと密接な関連を有すると認められる内容であること
- ②OJT実施日は「日時、訓練内容、指導員名、考察」を**対象者本人が**報告書に記載すること
(受講者直通の電話番号の記載も必要)
 - (1)どのような知識や技術が習得できたのか具体的な記載が必要
 - (2)**コピーアンドペーストが認められる場合は、該当者のみならず全受講者分が不支給**になります。
- ③OJTは**適格なOJT指導員（自社社員）が常時つく体制の下で実施**すること
 - (1)OJT指導員の経歴の略歴書や出勤簿の提出ができること
 - (2)OJT指導員は実務経験5年以上またはITSSレベル2以上を有している者であること
 - (3)OJT指導員が指導した日は既定の様式に日々チェックすることが必要
- ④**OJTは必ず事前計画に沿って実施**すること
- ⑤**所定労働時間内**に実施されたOJT時間が助成対象
- ⑥計画したOJT時間の**80%以上**出席が必要
- ⑦訓練期間中の対象者本人と、OJT指導員は、**派遣契約をしないこと**
- ⑧OJT終了後はジョブ・カードで評価を実施すること

共通留意事項

- ①事業主都合による**解雇や退職勧奨**がないこと
- ②**職業能力開発推進者**を選任していること
- ③**事業内職業能力開発計画**を作成していること
- ④計画届を**訓練開始の1か月前まで**に都道府県労働局に提出すること
- ⑤支給申請を**訓練終了後2か月以内**に都道府県労働局に提出すること
- ⑥訓練時間の**80%以上**出席が必要（OFF-JT+OJTの場合は、それぞれ80%以上出席が必要）
- ⑦**所定労働時間内**に実施された訓練時間が助成対象
- ⑧訓練期間中は申請した雇用保険適用事業所に在籍すること
- ⑨助成金を受給した事業主は国の会計検査の対象となることがあるため関係書類を5年間、整備保管すること

※詳細は厚生労働省が発行している「人材開発支援助成金（特定訓練コース・一般訓練コース）のご案内」
「人材開発支援助成金 人への投資促進コースのご案内」のパンフレットをご確認ください

お客様ごとに専任の担当者を決め 最後までサポートいたします

- 助成金申請に関するガイド
- 研修に関するご意見やご質問 etc
- 助成金申請や研修に対する疑問や不安にお応えします

助成金申請の見える化

見える化によるプロセスの共有

- ①**簡単** 申請の重要ポイントが
一目でわかりやすい
- ②**安心** 24時間いつでもチェックできる
- ③**確実** 申請のプロセスやスケジュールが
把握しやすい

申請サポートサイト



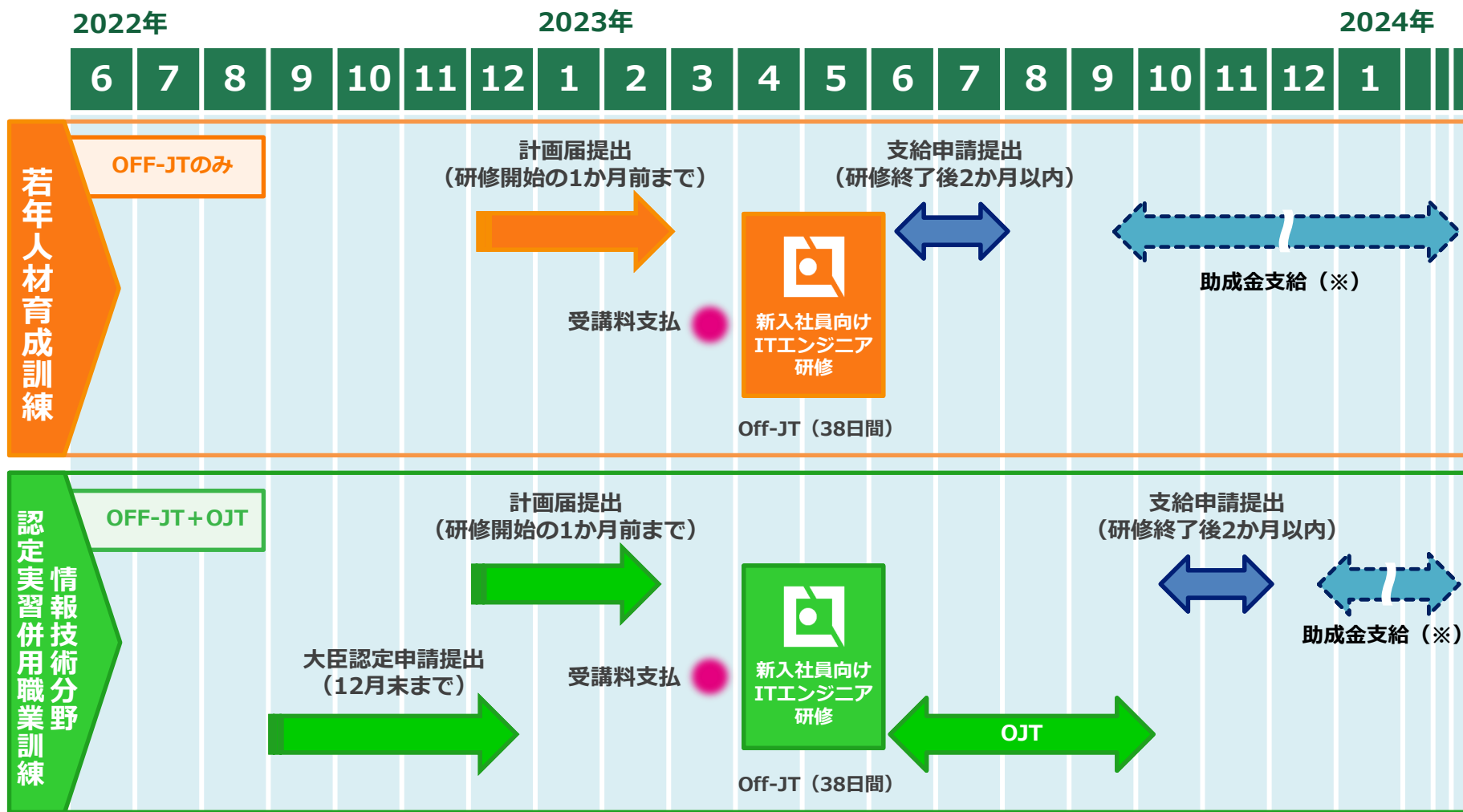
申請書類について

弊社にて書類の記載方法等のガイドを実施いたしますが、申請代行は実施しておりません。

助成金の申請について

助成金の支給可否は労働局の判断により決定されます。
昨年度、弊社のお客様においては助成金が支給されなかった事例はございませんが、各種申請において重大な不備等があれば助成金が支給されない場合がありますので予めご了承ください。

助成金について：全体スケジュール



※助成金支給の目安：支給申請提出後4～10か月程度(各地の労働局により変動します)

※申請締め切り間際は労働局窓口が大変混雑します

早めに申込みいただき、余裕を持って申請されることをお勧めします

「ビフォア」サービス



人材
育成

「アフター」サービス



— 研修サービス・ビフォア&アフターサービスを通して —

全国のエンジニアを元気にする

CUBIC 適性検査

新卒・中途採用の
適性検査として活用できます！

個人の資質や特性を『性格』『意欲』『社会性』『価値観』の
側面から評価します。



活用シーン

採用基準設計策定

自社のハイパーフォーマーに
共通する因子の発見

部署配属時の相性診断

採用後の育成計画策定

【特長】

- 面接時の留意点を確認できる
- 採用判定の基礎データとして活用できる
- 採用後の配置予定の検討資料としても活用できる
- 特徴を知ることができる
- 適した分野の仕事を知ることができる など

『emTech Academy』
申込特典

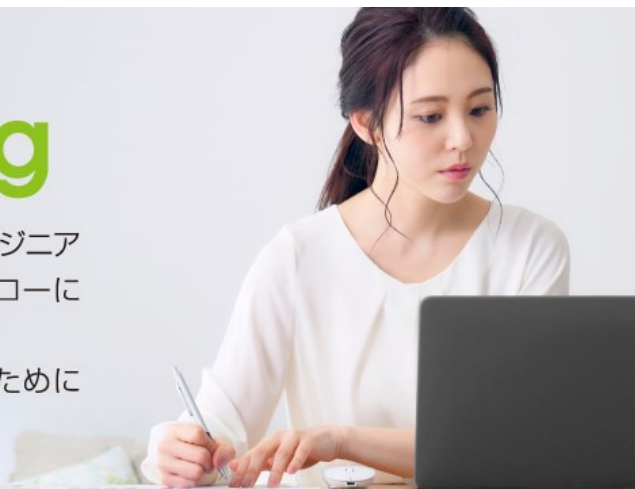
申込特典として
5検査まで無料で
提供させていただきます。

ITエンジニア研修会社が提供する

内定者 **e-learning**

『内定者e-learning』は、弊社の新入社員向けITエンジニア研修をお申込みいただいたお客様の内定者フォローにご活用いただける『e-learning』です。

入社予定者の安心やモチベーションを維持するためにぜひご活用ください。



ご利用料金

通常価格 1人

11,000円(税込)



emTech Academy
23年度を申込むと

特別
価格

特別価格 1人

5,500円(税込)

2022年度 新入社員向け

フォローアップ研修

2022年4月に弊社のITエンジニア研修を受講した新入社員向けに、エンジニアとして必要となる汎用的な技術知識を身に付ける為のフォローアップ研修を実施いたします！



ご利用料金

通常価格 1人

11,000円(税込)



emTech Academy 22年度受講
もしくは23年度を申込むと

特別
価格

特別価格 1人

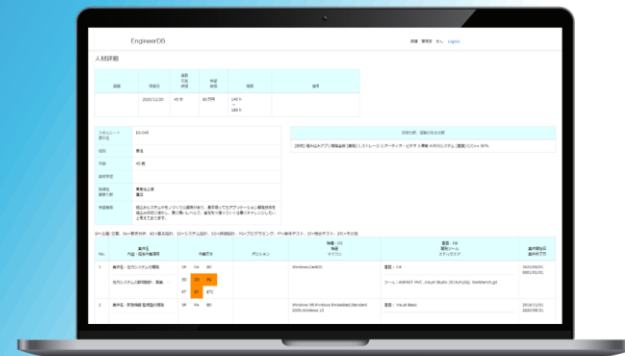
5,500円(税込)

エンジニアの調達/営業 一挙解決!

EiDB

エンジニア総合データベース (Engineer Integrated DataBase)

案件は人材育成ビジネスで繋がりのあるメーカー又はメーカー子会社からの案件のみを掲載。登録のエンジニアは各社の社員のみ！
2次請け、3次請けで業務の責任の所在がはっきりしない。
コンプライアンス面で不安などのお悩みを一発解決。



EiDBの特長

- 登録されている案件は一定の条件をクリアしている
- 所属がはっきりしているエンジニアをアサインできる
- クラウドサービスだから検索・管理が簡単

